

もしや... 結核!?

結核患者のうち

高齢者の割合が増えています。

気になる症状がある時は、

結核を疑ってください。

ご高齢の方は、せきなどの呼吸器症状が
はっきりと現れない場合があります。

37~38度
くらいの微熱



減

?



体重が減る



食欲が
ないが

Ooops



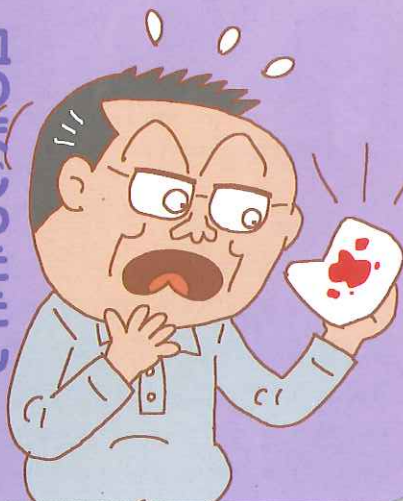
長引くせき



寝汗をかく



血のまじったたん



監修 桜山豊夫
東京都福祉保健局技監 医学博士



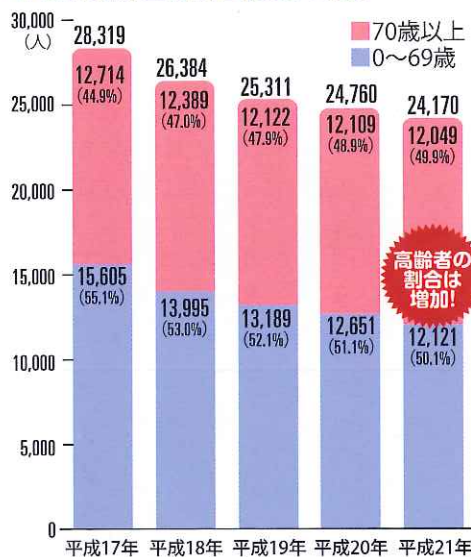
誤解していませんか？

結核は過去の病気？



1年で約2万5000人が結核に感染しています。うち高齢者が占める割合は全体の約半分で、その割合は年々増加しています。高齢者にとって、結核は今も「警戒すべき」感染症なのです。

年齢別新登録結核患者数



平成21年度結核発生動向調査より

なぜ結核は高齢者に多いのか

国民病と結核が呼ばれた時代を経験した高齢者は、過去に結核に感染している可能性があります。新たに感染するケースよりも、肺の中に結核菌を抱え込んだまま歳をとり、免疫力を下げる要因が重なった時に発病する人が多いようです。治療が遅れば死に至ることもあります。

感染したら全員が発病するの？



感染しても免疫によって結核菌の増殖は抑えられ、すぐに発病する人は全体の1割程度にすぎません。発病しなくても結核菌は肺内で冬眠状態のような形で潜伏しており、免疫力が衰え増殖が抑えられなくなると発病します。

免疫力の低下に注意

不規則な生活や加齢、病気などで免疫力が落ちると、冬眠状態だった結核菌の活動が再開。一度は発病を免れた人であっても、約2割が数年から数十年の長い年月を経て発病するといわれています。糖尿病や腎臓病など慢性疾患を患う高齢者は特に注意が必要です。

ハイリスク群 注意すべきは、

- 慢性疾患を患っている人
- 体力が低下した人
- 大きな手術をした人
- ステロイド剤や抗がん剤を服用している人
- 疲れている人
- 栄養不良の人
- HIV感染者 など



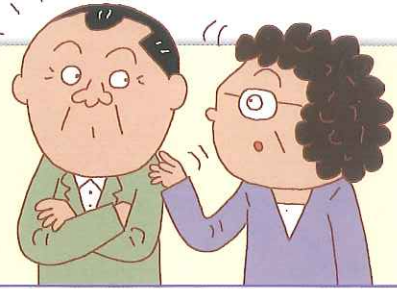
マメ知識

結核は結核菌による感染症です。「咳」や「くしゃみ」によって結核菌が空中に広がり、それを吸い込んだ人に感染を起こします（=空気感染）。

結核

結核は高齢者にとって、過去には身近にあった病気です。それだけに、昔の記憶やイメージから、さまざまな思い違いをしていることも多いのではないのでしょうか？

結核は不治の病？ 感染したら 隔離されるのでは…



かつて多くの命を奪った結核も、早期に確実に治療すれば完治します。たんの中に排菌されなくなり、人にうつす可能性がなくなれば退院でき、通院治療を続けながら通常の生活が送れます。

結核菌が“たん”の中に出てくる(排菌)と「入院」



「発病」して“たん”の中に結核菌が出てくれば、周囲の人にうつす危険性が高く入院が必要になります。「喀たん検査」が陽性だった場合や、呼吸器症状が悪化した時などがこれにあたり、入院が勧告されます。入院期間は平均2~4か月です。

排菌が終われば 通院治療に切り替え



治療の基本は薬物治療で、3~4種類を6~9か月程度服用することになります。しばらくするとせきなどの自覚症状は軽くなりますが、不規則な服薬や中断で「耐性菌」が出現し、薬が効かなくなることがあります。症状が悪化し、治療期間が延びることにもなりかねないので、確実に服薬することが大切です。

公費負担医療

長期の治療が必要な場合もある結核の治療費は、公費負担医療制度により助成されます。助成額は、入院や外来、所得によっても変わってきますので、詳しくは地域の保健福祉センターにお問い合わせください。



ドツツ DOTS (直接服薬確認療法)

結核が完治するまでの間、医療従事者の目の前で薬を服用してもらい、服薬を確認するDOTSが進められています。確実な服薬によって治療成績を上げる手法として取り組まれているもので、地域によっては看護職などの家庭訪問による訪問DOTSが行われています。

結核から身を守る

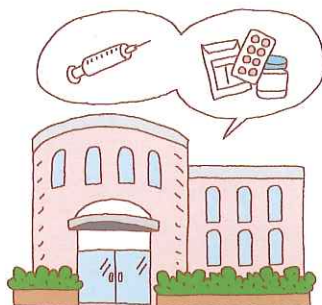
三原則

その1 健康管理で結核予防



免疫力を高め、結核菌に負けないからだを作りましょう。日頃から「バランスのとれた食事」と「睡眠」「適度な運動」を心がけ、免疫力を落とさないことが大切です。

その2 疑わしければすぐ受診



2週間以上続くせきや倦怠感、体重減少、血たんなどの症状が続いたら、すぐに医療機関を受診しましょう。せきが出る時は、マスクをして周囲の人にうつさない心遣いも大切です。

その3 定期健診で早期発見



早期に発見し治療すれば、症状も軽く、他人へ感染させる機会も減ります。地域や高齢者施設の定期健診を活用しましょう。

また、周囲で感染者が出た場合は、血液検査(QFT)やエックス線検査による「接触者健診」が行われることがありますので、積極的に受けてください。

高齢者の健康を守りましょう

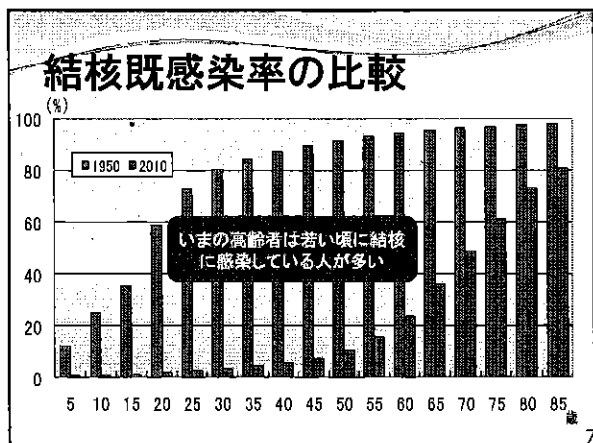
高齢者の結核は、「せき」や「たん」など結核特有の呼吸器症状が現れにくい場合があります。体重の増減や食欲など健康状態の変化にも注目し、普段と様子が違うようであればまわりの皆さんから受診を勧めてみてください。

結核に関する相談・問い合わせは保健所またはお住まいの区の保健福祉センターへ

保健福祉センター	所在地	電話番号	保健福祉センター	所在地	電話番号
北区	扇町2-1-27	6313-9968	東淀川区	豊新2-1-4	4809-9968
都島区(分館)	中野町5-15-21	6882-9968	東成区	大今里西2-8-4	6977-9968
福島区	大開1-8-1	6464-9968	生野区	勝山南3-1-19	6715-9968
此花区	春日出北1-8-4	6466-9968	旭区	大宮1-1-17	6957-9968
中央区	久太郎町1-2-27	6267-9968	城東区	中央3-4-29	6930-9968
西区	新町4-5-14	6532-9968	鶴見区	横堤5-4-19	6915-9968
港区	市岡1-15-25	6576-9968	阿倍野区	文の里1-1-40	6622-9968
大正区	千島2-7-95	4394-9968	住之江区	御崎3-1-17	6682-9968
天王寺区	真法院町20-33	6774-9968	住吉区	南住吉3-15-55	6694-9968
浪速区	敷津東1-4-20	6647-9968	東住吉区	東田辺1-13-4	4399-9968
西淀川区	御幣島1-2-10	6478-9968	平野区	背戸口3-8-19	4302-9968
淀川区	十三東2-3-3	6308-9968	西成区	岸里1-5-20	6659-9968

大阪市保健所 感染症対策課

大阪市阿倍野区旭町1-2-7-1000(あべのメディックス11階) ☎06-6647-0653

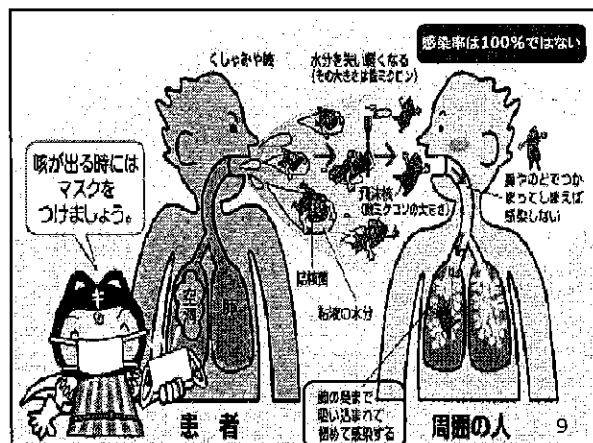


どうやって感染する？

- 空気感染(飛沫核感染)する
 - 結核が進行した患者が咳やくしゃみをすると結核菌を含むしぶきが飛び散る
 - しぶき(飛沫)の水分が蒸発して、はだかの状態(飛沫核)になった結核菌を吸い込むことで感染する

食器や衣類からの感染はありません

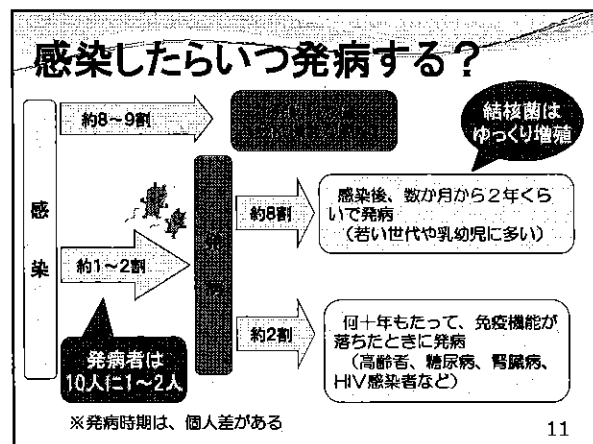
除にすると...



感染したら必ず発病する？

- 感染して発病するのは1~2割程度
 - 感染しても、免疫力が勝てば発病しない
 - 結核菌が免疫力に勝って、肺の中で増殖し始めると、炎症がおこり、咳や発熱を引き起こす(=発病)

「感染」と「発病」は違います！



発病したら人にうつすの？

- 発病してもすべての人が人にうつすわけではない
 - 「発病」して病状が進行し、たんの中にも結核菌が出るようになった場合のみ(=排菌)
 - 入院が勧告される

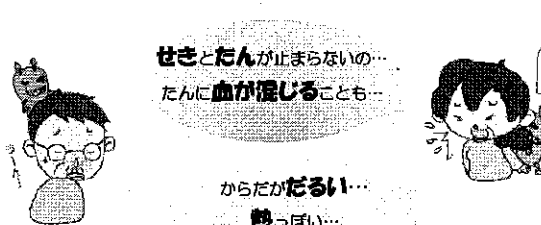
もちろん、「感染」しただけでは人にうつしません

結核の症状

せきとたんが止まらないの…
たんに血が混じることも…

からだがだるい…
熱っぽい…
息をすするとき胸が痛い…

結核の症状はカゼの症状とよく似ています


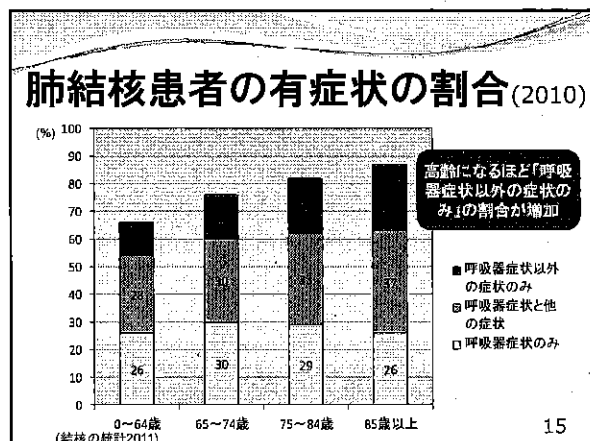


結核の症状(高齢者の場合)

- 咳や痰の症状がはっきりしないことが多い
- 微熱を伴う食欲不振や体重減少が主症状のことがある


わしは症状なかったのに…
結核って言われたんや…

体温・体重・食欲など健康状態の変化に
注意が必要です

結核の発病はどうやって調べる?

- 胸部エックス線検査
 - 肺の写真に白っぽく影がうつる
- 喀たん検査
 - たんの中に結核菌が混ざっているかを調べる




16

結核の治療方法は? ①

- 治療の基本は薬物治療
 - 3~4種類を6~12か月程度服薬
 - しばらくすると咳などの自覚症状は軽くなる
 - 不規則な服薬や勝手な中断で「耐性菌」が出現し、薬が効かなくなることも…

毎日、確実に服薬することが大切です




17

結核の治療方法は? ②

- 排菌が止まれば通院治療へ
 - 治療によりたんに結核菌が出なくなり、人にうつす可能性がなくなれば退院できる
 - 通院治療を続けながら、通常の生活を送ることができる

退院してきた結核患者さんを
ふつうに受け入れてください



18

その1 健康管理で結核予防

- 免疫力を高め、
結核菌に負けないからだを作りましょう
- 日頃から「バランスのとれた食事」「睡眠」「適度な運動」を心がけ、免疫力を落とさないことが大切

19

その2 疑わしければすぐ受診

- 症状が2週間以上続く場合は要注意
 - 症状がカゼとよく似ているため、気付かないで病状を悪化させてしまい、他人に感染させてしまうこともある
- 入所者の健康を守りましょう
 - 体重の減少や食欲など健康状態の変化に注目

普段と様子が違う場合は
まわりの皆さんから受診を勧めてください

20

その3 定期健診で早期発見

- 年に一回は胸部エックス線検査を
 - 高齢者の方も高齢者の介護をされる方も、年に一回は胸部エックス線検査を受けてください

高齢者の場合は比較読影を！

- 精密検査を受けるよう指示された場合には放置せず、速やかに医療機関を受診

21

大阪市 入所者向け結核健診の取組み

◎ 平成23年度から、高齢者の結核患者を早期発見することを目的とした結核健診を実施しています


	結核発症施設数	健診実施回数(のべ)	受診者数	要精密検査者数	結核患者数	発見率(%)
平成23年度	21	29	1507	187	1(健診者)	0.07
平成24年度	19	19	1276	97	1	0.08

• 実際に高齢者施設から結核患者が発見されています

一般住民健診での発見率0.02%に比べて高い

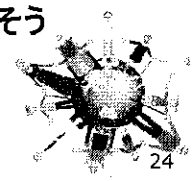
入所者の結核発病が疑われる時

- やむを得ず、施設で待機する場合は患者を個室に移す
- 窓を開放し、換気扇を回す
- 患者は通常マスク着用、職員はN95マスク着用が望ましい
- 衣類や寝具は日光(紫外線)消毒



※使用した部屋、ベッド、ロッカー等の消毒・消菌は、他の細菌に対する感染予防対策と同様で良い

- 結核は過去の病気ではない
普段から結核への警戒心を忘れずに
- 正しく理解して、
結核に対する誤解をなくそう



24